



# とねしょうかわらばん

10月 6日版

## 5年家庭科「SDGs」について知ろう

「SDGs」という言葉、最近よく聞きますか。2030年までに「だれも置き去りにしない」世界を作るための世界共通の目標のことで、よりよい世界をつくっていくために世界中の人々が協力してこれらの問題を解決していく必要があります。5年生の家庭科では、「SDGs」というものについて知ることをめあてに学習しました。



17の目標の1つ「14海の豊かさを守ろう」を分かりやすく学ぼうと、「ちりめんモンスターを探す」活動をしていました。大阪湾産のちりめんじゃこが少しずつ配られ、教室に海の香りが広がりました。イワシ以外にどんな種類の魚がいるのか、虫眼鏡とピンセットを使って探し、仲間分けをします。子どもたちは探し始めたら、すぐに、「うわあ、すごい。」「えー、なにこれ。」とテンション高く、夢中になっていました。アジ、アナゴ各種魚の稚魚、エビ・カニ類の幼生等、写真と見比べながら分類分けをしていました。タツノオトシゴの仲間の稚魚もいました。めずらしい！

この活動では手軽に海の生き物の多様性に触れることができ、海を守り、育てることの大切さに気づくことができたのではないでしょう



か？お家でも挑戦してみたいはいかがでしょう？

授業ではありませんが、ここでもう1つ「SDGs」な取組の紹介です。第十三中学校から「届けよう、服のチカラ」プロジェクトへの協力依頼がきています。いらなくなった子ども服（160cmまでの大きさ）の回収をし、ユニクロを通じて難民へ提供する活動をしているそうです。ぜひ、力根山小学校の皆さんにもご協力いただけたらと思います。よろしくお願ひします。

回収場所：力根山小学校職員室

回収する服：160cmまでの子ども服  
(ビニール袋に入れて)

